

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（ 井伊谷小 ）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 学校運営協議会での協議の結果を一つでも多く井伊谷小の運営のプラスにできるよう、活発な意見交換をする。
- 地域の力を活用していくためにどうしたらよいか具体的にその組織や方法を話し合っていく。時代に対応した学校運営に必要な支援を考えたい。
- 任期3年目であるので、協議会としての継承についても考えていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校運営の基本方針や進捗状況について、協議会毎に校長より詳細な説明があった。それを受けて委員より疑問点や意見を具体的に述べることができ、学校運営協議会として十分に熟議をすることができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 学校は、学校運営協議会の意見を受けて、次年度のグランドデザインに反映した。それにより、委員としても意見を出すことに意義を見出すことができ、熟議が深まった。
- 次年度の教育課程の変更点について、学校運営協議会で熟議したことで、保護者の理解を得るための後押しとなった。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ホームページや学校ブログなどでの情報発信に留まり、学校運営協議会が保護者や地域住民に十分認知されているとは言えない。
- 学校運営の基本方針や、熟議したことを広めるために、本校のコミュニティ・スクールの方向性に合わせた情報発信の方法を考えていきたい。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 学校運営協議会が学校と保護者、地域をつなぐ組織になるために、委員一人一人が、学校運営について地域にも保護者にも説明できるようにする。
- 学校運営協議会は、積極的に学校運営に関する意見を述べる。同時に学校も学校運営協議会を効果的に使い、学校運営の後ろ盾としたり、保護者や地域とのつながりを作ったりする。